

とうてい いい
夢見ろけは六十才で

花にうまうまいよ絵が

六十才のうまうまい

この絵をちがふに

いきいきとしは花で家をうまうまいせか

あれこれ手文 花やへこたもこれに注文し

室内 室内 花のまわりをうまうまいして

行くに

以外 室内を 花いばいのころがめつた

その頃のゆきをみると 厚くわしい

花の水やりで 一目さざしていい

そのころ水 一番氣にいていて 花のし

かつた

あんな日は もう乗所へ

思い出にゆけば 生きていられる

時折 花うらぐの春を見て 三水なり出来

そうと 植木がよこへ花をいを寛がう

とす

月光を採つたが カンキをあげ

水やりが「じょー」に出す

「シヤ」も「て」行くと「思」ても

水が「あ」神「を」行「な」い

花に水をやろう「う」は「ん」の「こ」

「二」を「の」手「は」歩「行」機「を」に「お」つ「て」い「な」な「ら」ば

「一」歩「も」動「け」な「い」

「こ」の「姿」を「華」と「思」う「か」
「ワ」や「と」思「う」か

「年」と「と」は「人」は「ど」う「し」て「い」な「ら」う

「デ」ニ「フ」か「出」来「な」な「草」と「言」つ「て」い「り」し「て」い「い」が

「ラ」フ「ホ」リ「た」る「と」
「ア」レ「な」ま「れ」

話「を」出「来」な「い」

「や」は「り」な「ア」マ「ア」の「言」う「と」な「り」
「食」ま「い」
「ク」ン

「オ」も「あ」く
「食」ま「い」
「ラ」ジ「を」ま「く」
「の」木「の」

「命」が「あ」う「な」な「の」日「々」

「血」が「あ」く「な」つ「て」
「つ」レ「ア」ア「ハ」
「ア」

「勝」手「は」
「可」い「け」い「い」

「フ」い「い」
「な」な「く」を「終」り「に」出「来」る「の」な「り」

2023
4/9

